

セレモジャーナル

# CEREMO

JOURNAL

Vol.29  
2026

戦国メディア見聞録～第七弾～  
戦国時代の農民 1日ルーティン

## 「戦国農民」の謎に迫る！

表舞台には出てこない戦国時代の農民の過酷すぎる生活とは

お葬儀 Q&A

葬儀社は、何を基準に選べばよいのでしょうか？

脳トレ

言葉の並び替え

Topics

現場からの声と仕事





## 戦国時代の 農民の1日



勇猛な戦国武将たちが華々しい活躍を繰り広げる一方で、その裏には乱世に翻弄されながらもたくましく生きる無数の農民たちがいました。過酷な乱世を生きる農民たちは、どのような生活を送っていたのでしょうか。

### 人口の9割が農民

戦国時代の人口は1200万人ほどで、その9割が農民でした。武将や大名は一握りで、ほとんどが農民でした。

### 合戦に足軽として参加

田畑を耕すなど農業に従事する一方で、合戦時には足軽として駆り出され、戦に逃れた落ち武者狩りを行ったりもしていました。

また、野盗や近隣の村からの夜襲を警戒するため、武装をして村の自衛に努めていました。戦国時代は飢えに苦しむ人々や合戦で領地を奪われ、家をなくした人々がたくさんいました。そんな人々が夜盗となり、夜襲してくることが多かったため、夜中の3時頃から夜襲を警戒して起床していました。

そのため、刀や槍、武具は欠かせないものでした。

### 1日の過ごし方

朝の6時から暗くなるまで、全て手作業で農作業をしていました。

# 「戦国農民」の謎に迫る！

表舞台には出てこない戦国時代の農民の過酷すぎる生活

食事は朝と夜の1日2食で、主食、味噌汁と漬け物。主食が多めで、味噌汁にはたくさんの野菜が入っていました。主食となるのは粟や稗、雑穀で、納税のために必要な白米は食べることができませんでした。

当時は灯りがなく、夜は出歩かず、7時には就寝していました。布団はなく、藁を編み込んだむしろを下に敷くか、床に横たわって寝ていました。

### 過酷すぎる開拓農民

戦乱に追われて家を無くしたり、納税が厳しすぎて逃亡した人々は、村には住めないため、開拓農民として山奥や山頂付近で暮らしていました。

農地を持っていない彼らは、生活のために新しい土地を開拓して暮らしていました。開拓農民たちは村の農民たちよりも貧しく、イノシシや熊などの獣にも襲われる危険もありました。家も建てる技術がないものたちは、ボロ小屋のような住まいでした。木を切り倒して更地にし、開拓していく作業はたいへん過酷で、木の実やきのこ、獣を狩ったりしながら生活をしていました。

江戸時代のような明確な身分制度は確立されておらず、農民から武士へ、さらには天下人へと、豊臣秀吉のように出世することも可能だったのです。

## NEXT 次回の特集は

### 戦国メディア見聞録 ～第八弾～ 秀吉の弟、戦国武将・豊臣秀長の生涯とは

天下一の補佐役・名経営者「秀長が長生きしていれば豊臣家の天下は安泰だった」!?  
秀吉を支えた兄弟の絆…戦国武将・豊臣秀長の生涯に迫ります。



お葬儀 Teacher  
Mr. Takahashi

Q.

葬儀社は、何を基準に選べばよいのでしょうか？

A.

葬儀社を選ぶ際、「どこに依頼すればよいのか分からない」と悩まれる方は多くいらっしゃいます。まずは「信頼の客観的な指標」を確認しましょう。

まず、価格の安さだけで判断しないことが重要です。費用を見る際は、合計金額だけでなく、何が含まれているのか、追加費用の可能性があるのかといった見積りの透明性を確認することで、納得感につながります。

次に、信頼できる基準があるかどうかのも一つの目安になります。例えば、組合員組織などが提携している葬儀社は、一定の基準を満たしているため、安心して相談しやすいという特徴があります。

また、対応する担当者の姿勢も大切な判断材料です。説明が分かりやすく、ご家族の意向を丁寧にくみ取ってくれるかどうかは、「相談してよかった」と感じられるかに大きく関わります。

さらに、葬儀後のサポート体制も見逃せません。手続きや今後の準備について相談できる環境があることで、ご家族の負担は大きく軽減されます。葬儀は一度きりの大切な時間です。

「安心して任せられるかどうか」という視点を大切に、ご自身に合った葬儀社を選ぶことが、後悔のない選択につながります。

公式サイトは  
コチラ



Brain Training

脳トレ

セレモニーの脳活で脳を活性化！

言葉の並び替え

難易度



次の言葉を並び替えて、  
正しい2つの文章を完成させてください。

ご

します

お悔やみ

を

申し上げます

冥福

心

より

お祈り

【答え】①ご冥福をお祈りします②心よりお悔やみ申し上げます

現場からの声と仕事

## 式を支える進行とスタッフの連携

葬儀当日は、受付や式の進行、参列者のご案内など、多くの場面が限られた時間の中で進んでいきます。ご家族にとっては、大切な方との最後の時間を過ごす場でもあるため、安心して式に臨める環境を整えることが何より重要です。

アンケートには、「式の進行を安心して任せることができた」「スムーズに進めていただき、故人を偲ぶ時間をゆつくり持つことができた」といった声が寄せられています。こうした評価の背景には、事前の準備と当日のスタッフ連携があります。

葬儀は、担当者だけでなく、進行を支えるスタッフ、受付や案内を行うスタッフ、生花や納棺の担当者など、多くの役割が連携して進められます。それぞれが自分の役割を果たしながら状況を共有することで、ご家族が式に集中できる環境を整えています。

ご家族が故人との時間を大切に過ごせるようにすること。

そのために、表に見えない準備と連携を重ねながら、一つの葬儀を支えています。

### 式当日で大切にしていること

- ☑ ご家族が故人との時間を大切にできる進行
- ☑ スタッフ同士の情報共有と連携
- ☑ 落ち着いて式に臨める環境づくり



セレモニー  
オリジナルキャラクター

## NEWS & TOPICS

### セレモニー公式 LINE アカウント 友だち募集中！

最新情報や豪華プレゼント企画、葬儀に関するお役立ち情報、安心葬儀学習会のご案内などの情報を配信しています。

#### QRコードから友だち追加

一般の方は  
こちらから



@145opvky

パルシステム組合員の方は  
こちらから



@527ebjno

いざというときに慌てないために、葬儀・終活について考えてみませんか？  
お電話・対面・オンライン・メールにて、気軽にご相談いただけます。



無料相談・ご依頼ダイヤル | 些細なことでもお気軽にお問い合わせください。



0120-41-4021

24時間365日対応

通話・相談無料

セレモ共済会 株式会社セレモニー 〒164-0003 東京都中野区東中野3-17-15

セレモ共済会

検索